

# 一般入学試験（前期日程：2科目型）

## 全学 部

### 英 語

(P.1)

#### 【出題の意図・ねらい】

①は基本的な語彙・熟語に関する知識を問う問題ですが、同時に問題文の意味を正しく理解する力も求められています。②は基本的な文法の知識を用いる力に加え、問題文の内容を読み取る力も必要になります。③は整序作文の問題です。与えられた日本語に合うように、英文の構造を組み立てる力を問う問題です。④は与えられた英文から、話の流れを崩さないように自然な文章を作る問題です。前後の関係を把握しながら、適切な解答を選ぶ力を求めています。⑤は会話文の内容と流れを理解し、文中の空欄部分に適切な表現を選び、挿入する力を見ることで、話者が意図することを理解し、適切に対応できる英語力を問う問題です。⑥は長文読解の問題です。英文の内容を理解するだけでなく、語彙や熟語の知識に関する力も尋ねています。

#### 【採点結果からの感想】

①基本的な語彙・熟語の問題ばかりですから、正答率が更に高くても良かったはずですが、中でも、正答率21.8%と最も低かった問5は、stand for という熟語の意味が分からなくても、問題文の内容から推測することで答えられるはずですが。②で正答率が31.9%と最も低かった問9は、different from や opposite to を押さえていれば、できない問題ではないでしょう。③の整序作文は、普段から文法の知識を活用して英語を話したり英文を書いたりする練習、また、音読の際にセンスグループで読む練習などを通して英文に十分親しんでおくと難しくはなかったはずですが。正答率が28.9%と低かった問4の問題も from the past さえ浮かべば、それほど難しい問題ではなかったでしょう。④各文がやや長めになっている分、少し難しく感じられるかもしれませんが、解答の選択肢に与えられている順番を利用しながら考えるともっと簡単に答えられたのかもしれない。問1は予想していた以上に正答率が低く35.1%しかありませんでした。英文の内容を十分理解できていなかったことが原因だと伺えます。then や anyway から始まる英文をどこに置くかを決め、内容から時間の流れを追うことができれば答えられる問題です。⑤基礎的な問題だったため良くできていました。問3の正答率が45.2%と若干低くなっていましたが、Well, you never know! (うーん、先のことは分からないけど) さえ分かれば、選択肢から次に続く表現は限られてくるはずですが。⑥本文の中に定義が示されている expats の意味をしっかりと押さえることができていると、全文の理解は易しかったはずですが。語彙に関する問題は、some を問う問題を除けば基本的な語彙・熟語の知識さえあれば難しくありません。48.7%しか正答できなかった問9では、選択肢の the pros and cons が「賛否両論」という意味であることが分かっていなかった受験生はできなかったものと思われる。問題に関連する英文だけの意味を取るのではなく、パラグラフリーディングや全文の論調を読み取る力をつけることが大切です。

#### 【これからの学習の指針】

基本的な語彙・熟語を確実に押さえておくことが重要です。大学入学後、あるいは社会人になってからも音声としての英語が身に付いていなければ、役に立ちません。文字言語としての

語彙・熟語の力だけではなく、普段から会話やインターアクションにおいて利用することができるように音声言語として練習しておくことが望ましいと言えます。目と手と口をフル活用して学んで下さい。文法は知識として覚えるだけではなく、発信を支えるための重要なツールとして意識するようにしましょう。リーディング活動においても、新しい表現や言い回しに出会ったら、自分ならどのような発信（話し、書くこと）に使いたいかを考えてみるようにすると良いでしょう。

さまざまなジャンルの英語に触れておくことで、口語表現や自然な会話の言い回しに慣れておくことも必要です。リスニングやリーディング教材のテーマについて発信活動（読む、書くこと）に広げる癖をつけておくのと良いでしょう。自分で使用した表現は記憶に残りやすいものです。

長文読解は、普段から前から順番にセンスグループ（意味の塊）で内容を処理する訓練をすることが大切です。一文ずつ後ろから訳し上げる癖がついてしまうと時間がかかるだけでなく、リスニングの処理能力にも悪い影響を与えかねません。音読の際にも意識しながら取り組むことが大切になります。

限られた時間内に必要な情報を正確に読み取るためには、パラグラフの構成を意識したり、接続詞の使われ方に注目したりしながら、テキストの内容や論理の展開を確認しながら読み取る練習が効果的です。

### 国 語

(P.6)

①は、自然科学系と社会科学系の学部に入学した場合に、②と古文③は人文系の学部に入学した場合に、現代文③は社会科学系の学部に入学した場合に、多く読むことになる類の文章です。

③の選択問題において古文を解答した割合は、1割弱で、昨年度とほぼ同様の割合でした。

今年度の国語の問題は、全体的によくできていましたが、各問題で比較的正答率が悪かった小問をあげます。①において、相対的に正答率が低かったのは問一⑧、問二（ア）、問四です。問一⑧は基本的な漢字問題です。また、問二（ア）は「客観的」という言葉の意味を問うもので、この言葉が意味する概念は、大学での勉学において重要な意味もっています。両問題とも基本的な問題ですので、普段から文章を読むときに不明な単語があれば、調べて身につけて、使えるようにしましょう。問四は、問題文全体の内容の理解を問うものです。文章全体が何を主張しようとしているのかを意識して読むようにしましょう。

②はよくできていましたが、相対的に正答率が低かったのは問五、六です。両方の問題ともに、問題文の筆者や詩の作者の考えを、文脈から読み取る問題です。指示語が何を指しているのかを意識し、文章全体の主張を理解するようにしましょう。

現代文③において、最も正答率が低かった問題が、問二のCです。次に、正答率が低かったのが問四です。問二は、文中の空欄に当てはまる適切な接続詞を選ぶ問題です。接続詞の意味を正確に理解し、文章を作成する際に適切に使用できるように練習しましょう。問四は、問題文全体の内容についての理解を問う問題です。このタイプの問題は、①②でも正答率が低かったため、文章全体の内容や主張を理解する練習が必要であると

いえます。

古文③において、相対的に正答率が低かったのは、問一(4)、問二、問三です。特に問一(4)の正答率が非常に低かったです。問一(4)は、「な聞かせ給ひそ」の意味を問うもので、問二は「なむ」の用法を問う問題です。両方の問題とも、古文の言葉の用法を理解している必要があることから、用法についての学習が必要であるといえます。問三は、文意を問う問題です。

全体的に、文章全体または部分の意味を問う問題ができていません。大学で、文献を読み情報を吸収するには、その文献の主張を正しく理解する必要があります。文章全体の意味を理解するには、短い要旨を作れるかどうか練習するとよいでしょう。

## 数学 (I・A)

(P. 12)

数学 I・A の範囲の中で、標準的なレベルの問題が並んでいます。一部の問題を除いて、全体的に正答率は高かったです。

①は小問です。

問 1: 2 種類以上の文字を含む整式を因数分解する場合には、最も次数の低い文字 (この問題では  $a$ ) に着目して整理すると、因数分解をしやすいです。

問 2:  $\sqrt{5}$  の整数部分が 2 なので  $a=6$ ,  $b=\sqrt{5}-2$  となります。

問 3: 2 つの放物線の頂点を求めるか、あるいは平行移動の式を使うことで解答を求められます。

問 4: 今回の試験の中で最も正答率が低かった問題です。不等式の両辺を 2 乗した後に、根号を含む数がどの 2 つの整数の間にあるのかを求めることで解答できます。

問 5:  $\tan A = \frac{8}{15}$  となる直角三角形を描くことで求めることもできますし、三角比の相互関係  $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$  と  $1 + \cos^2 A = \frac{1}{\tan^2 A}$  から求めることもできます。

問 6: 三角形の面積の公式、余弦定理、正弦定理から求めることができます。

②は 2 次方程式に関する問題です。

問 2: 判別式を使って  $a$  についての 2 次不等式を解けば解答できます。

問 3 ~ 問 5: 2 次関数  $y=x^2-2ax-4a+5$  のグラフを利用して考えるとよいでしょう。

③は確率に関する問題です。

問 1・問 2: 条件を満たす場合の数をそれぞれ求めれば解答できます。

問 3: 積が 9 の倍数になるためには、3 の倍数の目が 2 回以上出ればよいので、その場合の数を求めればよいです。

問 4:  $a > b > c$  となるのが  ${}_6C_3 = 20$  通りあることがわかれば解答できます。

④は整数の性質に関する問題です。

問 1: 循環小数を分数に直す方法がわかっているれば簡単です。

問 2: 素因数分解を使って約数の個数を求めます。

問 3:  $n$  が小さい場合を順番に考えると規則性を見つけ出すことができます。

問 4: 最大公約数が 9 なので、 $x=9m$ ,  $y=9n$  ( $m, n$  は互いに素) と書くことができます。そして最小公倍数が 675 なので  $mn=75$  が成り立つ、という手順で解答を求められます。

多くの問題は教科書の練習問題とほぼ同じレベルなので、教科書に載せられている練習問題を手際よく解けるように準備しておくといよいでしょう。